Polaroid

高解像度スポーツビデオカメラ

XS7

取扱説明書

www.polaroidaction.com

各部名称

1. モードスイッチ上 - 静止画像中央 – ビデオ録画下 – 車両搭載モード
2. レンズ
3. 電源ボタン
4. LCDカラーディスプレイ
5. 充電ランプ
6. ビジーランプ
7. シャッター
8. USBポート
9. メモリーカードスロット
10. リセットボタン

ようこそ

Polaroid XS7HD高解像度ビデオカメラをお買い求めいただきありがとうございます。本製品は弊社最小クラスであるにもかかわらず、720p高解像度ビデオクリップおよび5MPの静止画像を撮影できます。正しく使用し手入れをしていれば、多年の使用に耐え、陸地水中を問わず、静止状態でも動きながらでも、映像ライフを楽しむことができます。小型なサイズ、軽量、防水機能が特長のユニークなこのカメラは、あなたの映像ライフの幅を広げます。
本取扱説明書をよくお読みになった後は、今後の参照のために、適切な場所に保管してください。本取扱説明書のスクリーン画像やイラストは、実物とは多少異なる場合があります。

内容品

- XS7カメラ
- 防水ケース
- バイクマウント
- ヘルメットマウント
- カメラマウントアダプター
- USBケーブル
- 取扱説明書

ご注意

1. レンズを直接太陽に向けて、本機を直射日光にさらさないでください。イメージセンサーが故障する可能性があります。
2. 本機に水や砂粒が入らないよう気をつけて取り扱ってください。防水ケースで密閉している場合に限り防水が可能です。本機をビーチの近くや水中で使用する場合は、必ず防水プロテクターに入れてください。このプロテクターを使用することにより、カメラが濡れずに済み、砂粒や塩蒸気から保護されます。
3. 温度、湿気が極端に高く、ほこり、化学物質のある環境に本機を保管しないでください。
4. 長期間 (3ヶ月以上) 本機を使用しないと、バッテリーの寿命が短くなります。長期間使用しない場合は、1分以上電源をオンにすることをお勧めします。これにより、電流がバッテリーに流れるためです。
5. 本機やレンズの汚れが激しくなったら、清潔で柔らかい素材の布でそっと拭き取ってください。
6. レンズ表面を指で触らないでください。
7. 本機ではmicroSDフラッシュカードを使用します。指だけではカードがロックされる位置まで押し込めない場合や押してもロックが解除されないことがあります。その場合は爪や小さなマイナスドライバーで軽く押してみてください。
8. メモリーカードは電磁界に近づけないでください。また、コンピュータや本機がデータを読み込んでいる最中はメモリーカードをソケットから取り出さないでください。
9. 内蔵メモリーは搭載されていません。必ずmicroSDカードやmicroSDHC (大容量) をスロットに装着してください。

バッテリーを充電する

1. USBケーブルの小さな方のプラグを、本機の底部にあるUSBポートに、反対側のプラグをコンピュータの空きUSBポートに接続してください。
2. コンピュータをオンにしている間は、充電インジケータランプが点灯し、バッテリーが充電されます。
3. 充電中はランプが点灯し、完了すると消灯します。
4. 通常の充電時間は2〜4時間内で、写真の数や録画したビデオの合計時間によって異なります。メモ: バッテリーの充電前、完全に放電させる必要はありません。リチウムイオンバッテリーが内蔵されているため、放電の状態に関係なくフル充電されます。このため、充電時間が大幅に短縮されます。

本機をオン/オフにする

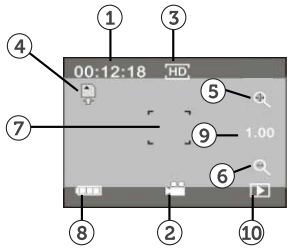
1. 本機上部の電源ボタンを1回押します。本機がオンになりここに示したような画面が表示されます。
2. 4秒後、起動画面が消灯し、ライブビデオが表示されます。
3. 本機の電源をオフにするには、電源ボタンを押します。

ビデオを録画する

1. メモリーカードスロットにフラッシュメモリーカードを挿入します。
2. 電源ボタンをオンにします。
3. モードスイッチを中央の位置に合わせます。
4. シャッターボタンを1回押すか、LCDカラーディスプレイの中心を1回押すと、ビデオクリップの録画が始まります。シャッターボタンをもう一度押すと録画が停止します。注意: メモリーカードの容量がいっぱいになるか、バッテリーが切れると録画が自動的に停止します。

ビデオモード時の画面のアイコン

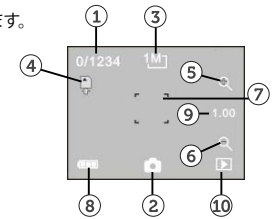
1. **00:12:18**: このタイマーは、残り12分18秒録画できることを示しています。
2. : 本機がビデオ録画モードになっていることを表します。
3. : 画質が高解像度720pに設定されていることを表します。
4. : メモリーカードが挿入されていることを表します。
5. : デジタルズームイン
6. : デジタルズームアウト
7. : タッチセンサーシャッター
8. : バッテリーの残り電力がこのバッテリーアイコンに示されます。
9. : ズーム値, 1= 広角度, 4=望遠
10. : このアイコンを押すと再生モードに切り替わります。



写真を撮る

1. 前に説明した手順で本機をオンにします。
2. モードスイッチを下にスライドさせて、写真撮影モードを選択します。
3. 本機を撮影対象に向け、タッチスクリーンでズームレベルを調整し、画面の中心を押すか本機右上のシャッターを押して写真を撮影します。
4. メモリーカードへの写真の保存中にはビジーランプが点灯します。camera body.

写真モード時の画面のアイコン

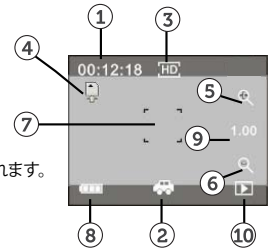


1. **0/1234** スラッシュの左側の数字はこれまでに撮った写真の合計数を表します。スラッシュの右側の数字はメモリーカードに収録可能な写真の合計数を表します。
2. : 静止画撮影の準備ができたことを表します。
3. : 押すと写真のサイズ (1M/3M/5M) が選択されます。
4. : メモリーカードが挿入されていることを表します。
5. : デジタルズームイン
6. : デジタルズームアウト
7. : タッチセンサーシャッター
8. : バッテリーの現在の残り電力がこのバッテリーアイコンに示されます。
9. : ズーム値, 1= 広角度, 4=望遠
10. : このアイコンを押すと再生モードに切り替わります。

車両搭載モード

1. このモードで正しいアクセサリーを使用すると、本機を車両、バイクヘルメット、スノーボードなどに搭載することができるようになります。移動中に本機のボタン類に触れることは想定されていません。従って、道路上や森林内の走行中は、5分間区切りでビデオクリップが録画および保存されます。この動作は、電源ボタンが押されて録画が終了するまで繰り返されます。注意: オフになることなく動作継続が可能になると、メモリーカードがビデオクリップでいっぱいになり、前の録画ファイルが消去される「録画ループ」状態になります。このループモードになると、バッテリーが完全放電されるか電源ボタンが押されない限り録画が停止しません。
2. 車両搭載モードを有効にするには、モードスイッチを下にスライドさせます。小さな車のアイコンが画面の底部中央に表示されます。
3. 録画を開始するには、本機上部のシャッターを押すか、画面の中心を押します。
4. 録画を停止するにはいずれかのシャッターを押します。

車両搭載モード時の画面のアイコン



1. **00:12:18** : タイマーは、残り12分18秒録画できることを示しています。
2. : 本機が車両搭載モードになっていることを表します。
3. : 画質が高解像度720pに設定されていることを表します。
4. : メモリーカードが挿入されていることを表します。
5. : デジタルズームイン
6. : デジタルズームアウト
7. : タッチセンサーシャッター
8. : バッテリーの残り電力がこのバッテリーアイコンに示されます。
9. : ズーム値, 1= 広角度, 4=望遠
10. : このアイコンを押すと再生モードに切り替わります。.

撮影したビデオおよび写真を再生する

1. 電源ボタンで本機をオンにします。
2. モードセレクターを中央の位置に合わせます (ビデオ録画)。
3. LCDカラーディスプレイの中央底部にムービーカメラアイコンが表示されます。ビデオクリップを見返すには、画面の底部右側の再生アイコンを押します。
4. 図Cに示されている閲覧矢印を使用すると、ファイルが一つずつ前後します。
   メモ: このモードで閲覧している間、確認のための静止画像も表示されます。LCDカラーディスプレイの上左隅には「JPG」という文字が表示されます。画像がビデオファイルを表している場合は「AVI」という拡張子が表示されます。
5. 見返すビデオフレームが表示されたら再生ボタンを押します。そのビデオクリップが再生されます。
6. クリップの再生中に、一時停止することができます。そして通常速度で再生するほか、それよりも速く、または遅く再生することもできます (下図AおよびBを参照)。

図A

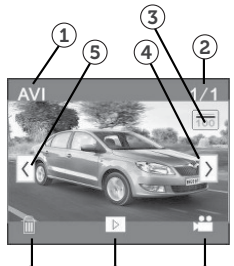
再生

低速　一時停止　高速

図B

再生画面のアイコン

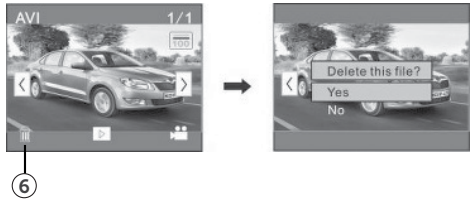
1. : ビデオのAVIファイルを見返していることを表します。
2. : 1クリップのクリップ#1を表示していることを表します。
3. : 現在のフォルダ名 (例: I:\DCIM\100MEDIA)
4. : ここを押すと先のビデオクリップが閲覧できます。
5. : ここを押すと前のビデオクリップが閲覧できます。
6. : ごみ箱アイコンを押すとビデオクリップが削除されます。
7. : 押すと現在のビデオクリップが再生されます。
8. : ムービーカメラアイコンを押すと前のモードに切り替わります。



図C

ファイルを削除する

1. 再生ファイルの最後から2つのセクションに表示されているスクリーンショットの、それぞれの左下隅にはごみ箱アイコンが表示されています。
2. 静止画像ファイルまたはビデオクリップを削除するには、このごみ箱アイコンを押します。
3. アイコン (下図のアイテム) を押すと、ディスプレイに表示されているファイルを削除するかどうかの確認メッセージが、右側の画面に表示されます。
4. [はい (Yes)] を押すとファイルが削除され、[いいえ (No)] を押すとファイルが維持されます。



5. いずれかを押すと、左側に表示される再生画面に戻り、再生アイコン、ファイル形式、ファイル数/ファイルカウンター、フォルダ名、前後矢印、ごみ箱、再生、静止画像/ビデオカメラモードが表示されます。

メモリチップのファイルをコンピュータに転送する

1. 本機のUSBポートとパソコンを互換USBケーブルで接続します。
2. 本機はプラグアンドプレイデバイスであるため、コンピュータに即時認識されます。
3. コンピュータでは本機はリムーバブルディスクとして扱われ、[マイ コンピュータ] などの下に表示されます。
4. 撮影した写真やビデオは「I:\DCIM\100MEDIA」(「I」とはコンピュータによって本機に割り当てられるドライブの文字を表します) に保存されます。
5. 車両搭載モードのクリップは「I:\DCIM\RECORDER」(「I」とはコンピュータによって本機に割り当てられるドライブの文字を表します) に保存されます。
6. 各ファイルには、写真/ビデオ編集プログラムで、リムーバブルディスクとして扱われる本機から直接アクセスできます。
7. 本機のファイルはすべて、Cドライブのフォルダに保存することをお勧めします。

本機のファイルをコンピュータに転送する

1. 本機のメモリーカードスロットからmicroSDメモリーカードを取り外します。
2. カードをコンピュータのメディアカードリーダーに挿入し、前項3-7、「本機のファイルをコンピュータに転送する」の手順に従います。

本機をオフにする

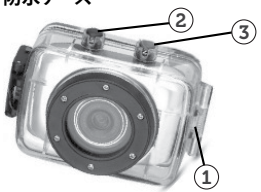
手動
電源ボタンを押すことにより、いつでも本機をオフにできます。

自動
5分間何のボタンも押されない場合は自動的にオフになります。

バッテリー残量の低下とユーザーへの通知
バッテリー残量が低下すると、左下隅のバッテリーアイコン (ビデオまたは写真撮影モード時に表示) が赤に変わり点滅し始めます。そののち、本機は自動的にオフになります。

付属アクセサリーを使用する

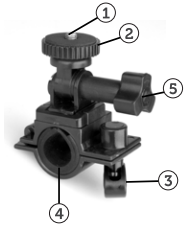
防水ケース



1. クランプ
2. シャッター
3. 電源ボタン

1. ケースから取り出して、クランプの半円部に指を入れます。
2. ケースを密閉する前に、ウォーターシーリングガスケットが良好な状態であることを確認してください。ガスケットをテストするには、本機を挿入せずにケースを閉じます。ケースを容器に入れた水の中に完全に沈め、1分ほどそのままの状態を保ちます。水からケースを取り出して、外側をタオルで拭いたのちにケースを開きます。内部全体が濡れていなければ、ケースおよびガスケットを水面下で使用しても問題ないことを意味します。
3. ビデオや画像を撮影する際に必要なボタンはシャッターと電源ボタンの2つのみです。
4. 必ずモードスイッチをお好みの位置に合わせてから本機を挿入してください。モードスイッチの代わりになる外部ボタンはありません。

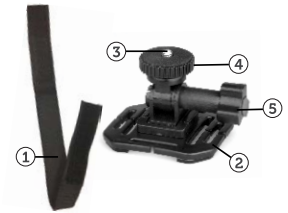
ハンドルバークランプ



1. ¼-20 Screw
2. Locking Wheel
3. Bar Clamp Bolt
4. Bar Clamp
5. Tilt Knob

1. 本機には通常の三脚架は付いていません。¼-20のネジ付きのすべての付属品を使用するため、本機は防水ケースに入れるか、付属のマウンティングアダプターに入れる必要があります。
2. ハンドルバークランプの¼-20ネジの上に防水ケース (またはマウンティングアダプター) を乗せ、右に廻して固定します。
3. ロックホイールを廻してケースを圧迫し、接続部を固定します。
4. バークランプボルトを緩め、ねじが90º上向きに押されるようにします。
5. バークランプの底部半分を開くと、ハンドルバーを巻き付けることができるようになります。
6. ハンドルバークランプをお好みの位置に合わせたら、クランプの底部半分を閉じ、バークランプボルトを締め付けます。
7. あおりつまみを緩め、適切な照準角になるように調整したら、またつまみを締め付けます。
8. パン調整を行うには、ロックホイールを緩めます。パン角度を調整したら、またホイールを締め付けます。

ヘルメットマウンティングシステム



1. ヘルメットボルト
2. ヘルメットマウント
3. ¼-20ネジ
4. ロックホイール
5. あおりつまみ

1. ヘルメットベルトの自由端を、ヘルメットマウントの底部のスロットのいずれか一つに通します。.
2. 同端をヘルメットベントに通し、さらに別のベントを経由させてヘルメットマウントに戻します。そしてベルトをヘルメットマウントの反対側に通し、さらにヘルメットベントを経由させて戻します。
3. これでベルトの両端がヘルメット内に収まったことになります。ベルトの両端を持ち、引いて締め付け、ベルクロストラップで貼り合せます。
4. ヘルメットマウントの¼-20ネジの上に防水ケース (またはマウンティングアダプター) を乗せ、廻して固定します。
5. ロックホイールを廻してケースを圧迫し、接続部を固定します。
6. あおりつまみを緩め、適切な照準角になるように調整したら、またつまみを締め付けます。
7. このヘルメットマウントはベント付きヘルメットとともに使用した場合にのみ機能します。

マウンティングアダプター

1. このマウンティングアダプターを使用すると、¼-20ねじを有するマウンティングアクセサリーを取り付けることができるようになります。
2. XS7は、このアダプターにぴたりと取り付けることができます。

仕様

イメージセンサー:	1.3MP CMOSセンサー
写真:	5MP (2592x1944)、3MP (2048X1536)、1MP (1280X720)
ビデオ:	720p (1280X720p FPS 30またはVGA (640X480) FPS 60
写真形式:	JPG
ビデオ形式:	AVI HD
3モード:	ビデオ、静止画、車両/スポーツ向け搭載モード
LCDディスプレイ:	2インチ(5cm) フルカラータッチスクリーン
FOV:	70度
バッテリー容量:	300ミリアンペア/時
録画時間:	1時間
充電時間:	1時間
USB:	USB 2.0
シャッター:	電子方式
ホワイトバランス、シーン、検出感度:	自動
メモリーカード:	Micro SD
メモリー容量:	1～32GB
ケース装着時水深:	10 m
重量:	46.5g (ケース除く)
寸法:	6.7 x 4.8 x 2.9cm

PLR IP Holdings（有）とこの被許諾者ならびに関連企業は、全ての発電こみの主導権を握ります。環境保全の管理企業として、また、制定された法律の侵害を防ぐため、居住周辺地域で適用される規定、方針、その他の管理基準に従いこの製品を適切に処置してください。本製品の適切な処理場所を決定させる際は、地元当局もしくは本製品のご購入先である小売業者にご確認いただくようお願いします。
また、ご自宅近くの収集施設の場所を示す周辺地域の特定な規定の詳細は、www.polaroid.comでご確認いただけます。
もし、お持ちの電気機器に個人もしくはその他の機密データが保管されている内部メモリを含むようであれば、機器の処理前にデータの浄化プロセスを行い、第三者が個人データにアクセスできないようにすると良いでしょう。データの浄化は製品とソフトウェアの種類によってその方法が異なりますので、機器の処理前に最も適する方法を検索してください。また地元のリサイクリング施設に、リサイクル行程におけるデータの浄化過程を確認すると良いでしょう。

Polaroid, Polaroid & Pixel, Polaroid Classic Border Logo はすべて米国PLR IP Holdings社の商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。
米国PLR IP Holdings社は本製品の製造を行っておらず、メーカー保証およびサポートは提供しません。
Zink®技術、および商標はZINK Imaging社の所有であり、同社のライセンスを受けて使用しています。

流通業者: C&A Licensing, LLC, 2 Bergen Turnpike, Ridgefield Park, NJ 07660 USA

© 2012 無断複写・転載を禁じます

中国製

製品の機能、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。

www.polaroidaction.com

™

Instantly recognizable. Instantly reassuring. The Polaroid Classic Border lets you know you've purchased a product that exemplifies the best qualities of our brand and that contributes to our rich heritage of quality and innovation.